

【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	病院や高齢者介護福祉施設等でも地産地消を促進できるような方法もご検討いただきたいです。	本計画中の主要施策①「地場産農林水産物の利用促進と情報発信の強化」において、福祉施設等における地域食材の利用促進を推進して参ります。
2	何を地産地消するのか、何が地域の特産品なのかを認識、PRする必要があると考えます。	本計画中の主要施策①「地場産農林水産物の利用促進と情報発信の強化」において、市内外の消費者・実需者にPR、情報発信の強化を図って参ります。
3	村上牛はブランド牛としての地位を確立しつつあるが、その他畜産物についても大きな資産だと思うが、その認識が市民にあるかどうか。	本計画中の主要施策①「地場産農林水産物の利用促進と情報発信の強化」において、村上牛を始めとした畜産物について、消費者・実需者の相互理解の促進を図って参ります。
4	観光資源としての食材の活用、有機栽培作物の推奨を行い、学校給食でも地域生産の有機栽培作物の提供を。	本計画中の主要施策①「地場産農林水産物の利用促進と情報発信の強化」及び主要施策②「安心・安全な農林水産物の生産促進」において、観光資源としての食材の活用の推進、安全・安心な農林水産物の生産拡大・学校給食での利用促進を推進して参ります。
5	村上市内でも農福連携等の障がい者労働リソースを活かす施策を。	農福連携につきましては、これまでも就労に関する仲介や情報提供などを行っているところです。農福連携は、障がい者等の就労や生きがいの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性がありますので引き続き推進して参ります。